

森のおくりもの

9月



切り絵：黒川 周子

季節はいよいよ夏が終わり、自然観察の森は、木々や虫たちの協力で本格的な秋へと移りかわろうとしております。ぜひ多くの方々が森の秋を感じに来園されますよう願っております。（菊池）

秋の空を彩る
「アカトンボ」の仲間



観察の森でみられるアカトンボの種類は6種類。アカトンボではない赤いトンボも2種類みられます。一度に全部紹介できないので、今回はその一部を紹介します。とまっているアカトンボを見つけたら、観察してみましょう。

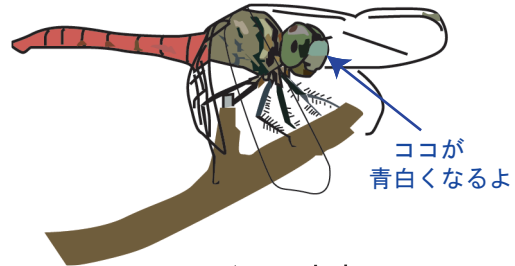
あかねちゃんもいろいろ

【文・イラスト：黒川】

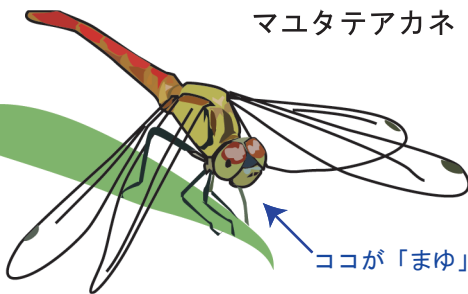
マイコアカネ

成熟したオスはお化粧をした「舞子さん」のように顔が青白く美しいことから和名がつけました。

観察センターではカタクリの広場やいこいの道で葉の上や、シュロ縄で休憩している姿をよく目にします。



マイコアカネ



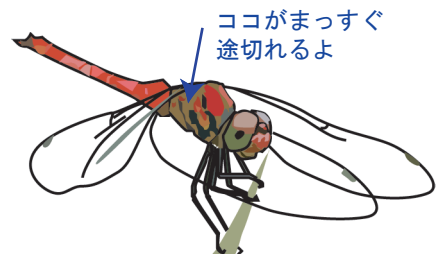
マユタテアカネ

マユタテアカネ

もっともふつうにみられるアカネ。顔に公家さんのような黒い「マユ」（豚の鼻にもみえる）が付いているのでこの名がつけました。翅の先に色が付いているタイプもあります。

ナツアカネ

顔まで真っ赤になるアカトンボです。観察の森ではよく見られるトンボです。横からみると胸に黒い線が3本あり、真ん中の線が途中で真横に途切れているのが特徴です。



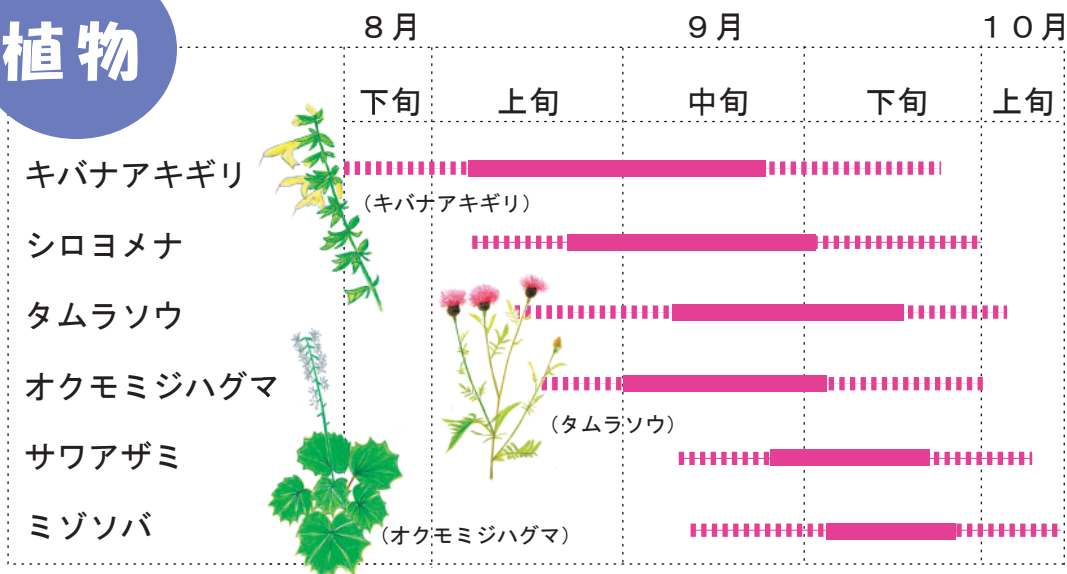
ナツアカネ

* あかねちゃんの見分け方パンフレットは、センターにあります。

9月の生物ごよみ (過去のデータから予想)

観察の森ではどんな生き物が、いつごろ見られるの？

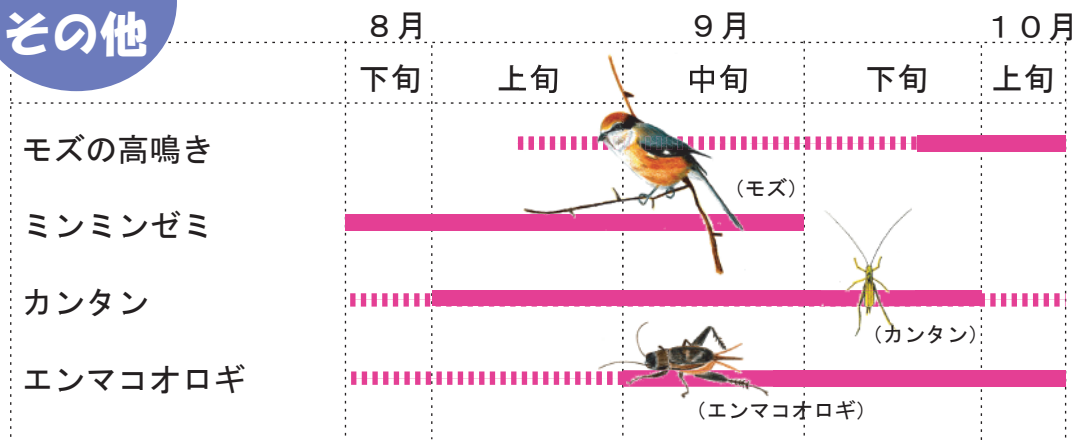
植物



お盆を過ぎるとすっかり涼しくなり仙台の夏はあっという間に終わってしまったようです。センターでは8月の中旬から『秋の鳴く虫』の展示を始めました。8月31日現在、コバネヒメギス、ヒメギス、アシグロツユムシ、ホソクビツユムシ、ヤブキリ、ヒメクサクリ、ハヤシノウマオイ、ハラオカメコオロギの8種類の展示をしています。これからどんどん増やす予定ですので楽しみにお待ち下さい。

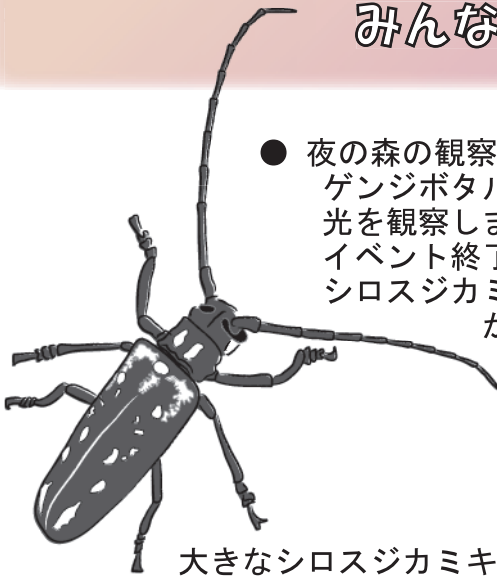
植物の開花状況も後半に入り、野菊も咲き始め残暑は残るものの秋は少しずつ近づいてきているようです。 【イラスト・文： 齋】

昆虫 その他

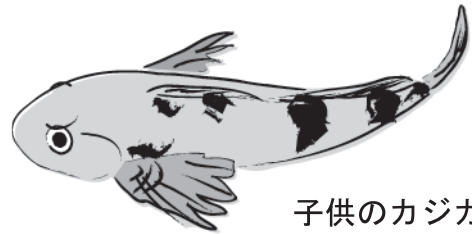


みんなで自然観察

楽しかった
夏のイベント



大きなシロスジカミキリ



子供のカジカ

- 夜の森の観察会 (7月9日・林)
ゲンジボタルやクロマドボタル、オオオバボタルの発光を観察しました。ニイニイゼミの羽化も見ました。イベント終了後には、シロスジカミキリも現れました。シロスジカミキリは一部の人しか見られませんでした。が、次回にご期待下さい！

- 笹川・水辺の観察会 (7月23日・林)
ニホンカワトンボをはじめ、ミヤマカワトンボ、ミルンヤンマ、コオニヤンマ、ムカシトンボなどヤゴがたくさん採集できました。ムカシトンボの発音(振動)を体験した人は、とても驚いていたようです。みんな私の話なんかより、採集に夢中になっていました。カジカの子供やヨシノボリ、サワガニなども採集できました。



翅がボロボロの
オオムラサキ

- 親子で昆虫かんさつ (8月13日・黒川)
翅がボロボロのメスでしたが、国蝶のオオムラサキを見ることができ、みんな感動していました。カナブンと一緒にコナラの樹液を吸っていました。近くのエノキに卵を産んでくれるといいですね！

- 虫のいどころ (8月20日・斎藤雄二氏)
ミンミンゼミ、アブラゼミ、ツクツクボウシなど蝉時雨の中、子供たちが必死に網を振っていました。まだ小学生にもなっていない子供たちが、飛んでいる蝶だって捕まえました！



【イラスト・文: 林】

注意：園内での昆虫採集は禁止です。観察後は放して下さい。

名月と虫とキノコと酒



9月に入りました。長かった猛暑の時期も終わりいよいよ秋本番です。

秋といえば、月がきれいな季節でもあります。今年の中秋の名月は9月12日となっており、その名月を眺め、秋の虫たちの声を聞きながら、秋の味覚のひとつであるキノコの料理でお酒をいただくというのは、なんとなく風流で秋の醍醐味のひとつと思うのは私だけでしょうか。

しかし、お酒と一緒に食べるのでできない食用キノコがあることをご存知でしょうか。それは、アルコールを前後または同時に摂取することにより中毒をひきおこす食用キノコで、注意をしなければならないということです。

そのキノコとしては、ホテイシメジ、ヒトヨタケ、スギタケなどがあげられます。

中毒の症状は、これらのキノコとアルコールを飲んでから30分から1時間後ぐらいに、激しい頭痛、めまい、血圧低下などが起こり、重症化すると呼吸困難や意識不明となることもあるそうです。

通常、飲酒の際、体内のアルコールは分解され有害なアセトアルデヒドに変化し、その後、アセトアルデヒドは、また別の分解酵素でさらに分解され酢酸となり無毒化されるのです。しかし、これらのキノコに含まれている成分は、アセトアルデヒド分解酵素の作用を阻害するために、結果的に血中のアセトアルデヒドの濃度が高くなり悪酔い症状がでてしまうそうです。

さらに、アルコールと一緒に飲まなくても過食するだけで悪酔い状態になるキノコもあります。それはハエトリシメジです。少量食べる分には悪酔いにはなりません、そこには大きな罠が潜んでおります。このキノコにはトリコロミン酸という化学調味料の数倍のうまみを感じる成分が含まれており、たいへん美味しいキノコのひとつとなっております。しかし、この美味しさが強力な罠となってしまいます。美味しさにつられてつい過食し悪酔いに陥ることになってしまうからです。

お酒の飲みすぎは当然のことながら、キノコの食べすぎと食べ合わせにも十分ご注意のほどよろしくお願いいたします。

今年もこれまで園内にいろいろなキノコが発生しており、これからも多くの種類が観察できるものと思います。見ているだけなら絶対中毒の心配はないので、ご来園の際には大いに見て楽しんでいただければと思っております。

(菊池)

9月の催し

申 し込み⇒ 8日9時から電話で受付



9/10(土)
10:00~11:30

『親子で昆虫かんさつ』

申

【定員】 15名

【持ち物】 観察用具、
雨具など

秋の雑木林でみられる昆虫たちを観察します。



9/17(土)
10:00~11:30

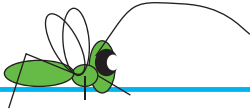
『秋の昆虫観察』

申

【定員】 20名

【持ち物】 観察用具、
雨具など

秋の昆虫探しのポイントを学びます。



(日)曜
は

『ガイドウォーク』の日!

9月のテーマは『秋の草花と虫たち』です

4日, 11日, 18日, 25日

10:00~11:30、13:30~15:00

* 申し込みの必要はありません。
センター前にお集まりください。



休館日

5日, 12日, 20日, 26日,

♪森へおいでください♪



宮城交通バス

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅前から
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



車

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



定期購読のお知らせ

住所・氏名・電話番号と、何月号から希望かを明記のうえ、80円切手12枚を同封して、自然観察センターまでお申し込みください。

2011年9月号(毎月1回5日発行)

発行: (財) 仙台市公園緑地協会

編集: 仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

* 仙台市からのお知らせ: 「キッズ百年の社」のURLにガイドウォークの1年のようすが載っています。→ <http://www.kids-100forest.jp/>